研修方法②

思いやりの心をはぐくむ道徳教育

神石高原町道徳教育推進協議会

アピールポイント

推進計画を機能化させるロードマップの活用

Ⅰ　人材育成

養プロ受講者が運営する協議会

- 昨年度養成プログラム受講者が本年度の協議会推進リーダー
- 本年度養成プログラム受講者は毎回研修内容の報告
- 協議会推進リーダーが協議会の企画・運営
- 道徳担当教諭は研修内容を各校へ還元

Ⅱ　協議会の充実

授業研究及び参加型研修

- 授業提案
- 授業に係る研究討議
- 養成プログラム研修受講者からの報告
- 演習・各校の実践交流等
- 講師からの指導・助言等

Ⅲ　ロードマップによる推進

進捗管理と検証

- 児童の実態把握と重点課題の認識
- 成果目標と取組み計画の立案
- 計画に沿った実践
- ◇道徳の時間を通して　◇理論研修を通して
  ◇児童会活動を通して　◇日常的な指導を通して
  ◇環境づくりを通して　◇道徳担当者の役割の明記

平成２０年度『道徳教育』ロードマップ

神石高原町立豊松小学校
責任者　松葉　伸恵

１　学校教育目標　　「心豊かで　たくましく　生き生き学ぶ子どもの育成」

２　重点課題（ビジョン）
（１）基本的生活習慣を身に付け，気持ちのよい返事やあいさつができる。
（２）人の気持ちを理解し，思いやりのある言動ができる。
（３）規範意識をもち，まちがいは正すことができる。
（４）家庭との連携を重視した道徳教育を実践する。

３　成果目標（ゴール）

年度末に期待する児童生徒の姿（ゴールイメージ）
（１）家庭学習・テレビの時間，起きる・寝る時刻を守る児童の割合を８０%にする。 気持ちのよい返事や挨拶ができる児童の割合を８０%以上にする。 （２）人の気持ちを考える，温かい言葉かけができる児童の割合を７５%以上にする。 （３）きまりを守る，まちがいは素直に謝って正すことができる児童の割合を７５%以上にする。 （４）家庭との連携を重視した道徳教育を年間１回以上行う。

４　取組み計画（★は，道徳担当者が中心になって進める）

月	具体的な取組み	評価計画	進捗状況（評価と改善）
一学期	４月★本年度の道徳教育の方向性を示し，取り組み内容について，全教職員の意識統一を行う。 ・学校，学年の課題を重視した年間授業計画を作成する。 ・アンケート等で児童の道徳性の実態を把握する。 ・学習規律づくりをする。 ・道徳授業の実践を行い，指導記録により振り返る。 ・児童の頑張りが見える掲示物を作成する。 ・あいさつ運動・挨拶活動・縦割り活動を開始する。	・児童の道徳性の実態把握を行う。 ・授業記録を取り，１時間ごとの成果と課題をまとめる。 ・各担任による道徳授業の自己評価と交流による相互評価を行う。 ・重点目標について児童の	
	★教務部で来年度の構想を練る。 ３月★児童アンケートをとり，１年間の道徳教育の振り返りをし，来年度の年間計画を作成する。		

５　成果目標に対する年度末評価

＼	年度末評価	次年度の方向性
達成状況		